

日本基督教団 八ヶ岳伝道所 主日礼拝 NO.1134 2020年8月23日

牧師 山本 護 奏楽 山本 恵美 第一部礼拝 司式 青柳 明美 9:30~10:30

※讚美は二番まで歌います

第二部礼拝 司式 清水由可 11:00~12:00

| | | | | |
|-----|-------------------|----------|------|-------------------|
| 前 奏 | 黙想 | 讚美歌 | 128 | みどりのしたたる |
| 讚美歌 | 54 | よろこびの日よ | 献金 | |
| 祈 禱 | | | 讚 詠 | 547 |
| 聖 書 | 申命記 8:3~4 | | 黙 禱 | |
| | ルカによる福音書 10:38~42 | | 主の祈り | 564 |
| 讚美歌 | II-161 | 輝く日を仰ぐとき | 讚 詠 | 546 |
| 説 教 | 『近景のマルタ、遠景のマリア』 | | 祝 禱 | |
| 祈 禱 | | | 後 奏 | ※信仰告白は当面のあいだ省略します |

誰もが知っているマルタとマリア姉妹の出来事。マルタはイエス一行のもてなしに忙しく(ルカ 10:40)、マリアは手伝いもせず教えに聞き入っている(10:39)。このマリア、ヨハネ福音書では高価な香油を無駄遣いする女として登場する(ヨハネ 12:3)。両福音書のマリアは共に終始沈黙したままで、状況を考えない非常識な態度でも非難を受けている(12:5)。そんな周囲の憤慨に対し、イエスは「いいじゃないか、そのままにさせておけよ」と、常識的なマルタ(ルカ 10:42)や弟子(ヨハネ 12:7)をたしなめている。

マリアという名はヘブライ語のミリアムで「強い」の謂、場の空気を読まず関心に集中できることは強さなのか。マルタはアラム語で「貴婦人」の謂、控えめで男に仕える如才なさが貴婦人なのか。「女の役割」を果たそうとするマルタの常識が悪いわけではない。しゃがみこんで教えを聞くマリアより奉仕する自分に注目してほしい、とイエスに指図までする(ルカ 10:40)過剰な自負心が問題なのだ。

「主はあなたを苦しめ、飢えさせ、あなたも先祖も味わったことのないマナを食べさせられた。人はパンだけで生きるのではなく、人は主の口から出るすべての言葉によって生きる(申命 8:3)」。現実のために、「パン」という経済をきちんと整えることが世の常識。マルタの働きはその一端であろう。対照的に「マリアは主の足もとに座って、その話に聞き入っていた(ルカ 10:39)」。「主の口から出るすべての言葉(申命 8:3)」を聞き逃すまいという構えだ。誇るわけではないが、八ヶ岳伝道所はこれまで、マリアのように歩んで来た気がする。「世のパン」は何とかなる、という根拠なき明るさがあった。

伝道所は開拓を始めて30年弱だが、「この四十年の間、あなたのまとう着物は古びず、足がはれることもなかった(8:4)」。確かにこれまで、私たちの着物は古びなかったし、足もはれなかった。当初は若く経験がないゆえの明るさだったが、今は、着物も古びず足もはれない経験によって明るい。「人はパンだけで生きるのではなく、人は主の口から出るすべての言葉によって生きる(8:3)」。御言葉は経験として刻印され、教会身体を形成する一人ひとりも、個々の状況で御言葉の力を経験するだろう。

「必要なことはただ一つである(ルカ 10:42)」とイエスは言った。とはいっても、誰もがマリアみたいに「主の口から出る言葉」にどっぷり浸かっていたら、旅人をどうもてなすのか、パンとしての教会経済はどうなるか、と心配するかもしれない。マリアのごとく沈黙し、イエスの言葉を聞いてほしい。マルタのごとくあれこれ喋り過ぎるあなたであるならば、なおさら沈黙するために坐してほしい。

「そのままにさせておけよ」とイエスはマルタをたしなめるが(10:42)、マルタが近景、マリアが遠景であることに注目したい。御言葉から遠ざかり不安に陥ったマルタに、イエスは目の前で語りかける。「マルタ、マルタ、あなたは多くのことに思い悩み、心を乱している(10:41)」。マルタの名をくり返し呼び、彼女に必要な何かを招き出している。実は八ヶ岳伝道所にもマルタのような所があって、幾度となく主の前に呼び出された経験がある。名を呼ばれることで、各々の特性や希望が、形に成る。

マルタとマリア 二人の人格というより 一人ひとりの内に在る食い違う二つの人格ではないのか
忠実な人格はそのまま 御言葉から遠ざかる人格は 名が呼ばれて楕円のような統合へと招かれる
コロナ三密対策のために、午前中の礼拝を二回に分けておこなっています。今日で2回目ですが、
どうお感じでしょうか。要望や提案がありましたら役員までお伝えください。検討して試みます。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。